



RESONA

りそな銀行アジアニュース

2016年12月30日
りそな銀行 国際事業部

【シンガポール駐在員事務所】

「日本・シンガポール外交関係樹立 50周年(SJ50)」

1966年4月26日に日本・シンガポールの外交関係が樹立されて、2016年で50周年を迎えた。そんな節目の年を祝うべく、9月にはリーシェンロン首相が、11月にはトニータン大統領が訪日し友好ムードが高まっている。シンガポールでも様々なイベントが企画され、盛り上がりを見せている。

10月29日・30日には「SJ50まつり」が開催され、「ジャパンプランド」をアピールすべく様々なステージ、展示、即売、商品PRが行われた。

会場はフットサルコートぐらいの大きさしかないにも関わらず、40社程の企業が出展しており、2日間で110,480人(主催者発表ベース)が来場した。また、2日間合計で34団体のパフォーマンスがステージ上で展開された。徳島・高円寺から阿波踊りの踊り手も約60名駆け付け、本格的な阿波踊りをステージ上で披露した。

1日目のフィナーレには、フレンドシップパレードと題し、オーチャードロードを一時的に歩行者天国とし、両国民合わせて約2,000人が練り歩いた。オーチャードロードは日本でいう銀座大通りのような場所で、両脇には有名ブランドショップが立ち並ぶような一等地である。



↑ステージでの阿波踊りの様子



↑フレンドシップパレードの様子。中にはアニメのコスプレをしている人も

また、「シンガポールスリング」発祥の地であるラッフルズホテルでは、2月より日本酒「獺祭」とのコラボで作るSJ50記念のカクテル「サクラスリング」が楽しめるようになった。「シンガポールスリング」とはシンガポール生まれのジンベースの名カクテル。1915年にラッフルズホテルのバーテンダーであった巖崇文氏が最初に作って以来、100年以上の歴史があり、シンガポールを代表する飲み物となっている。

他にも、チャンギ空港にて日本の有名華道家、假屋崎省吾氏がデザインした巨大な生け花がディスプレイされており、両国の外交関係樹立50周年を演出している。

シンガポール日本商工会議所(JCCI)に加盟する会員数(法人・個人含む)は、2016年5月時点で854社(2015年5月:832社)と、増加傾向にあり、シンガポールが日本でまだまだ注目を浴びていることを裏付けている。

また、シンガポール人の対日感情について、アウンコンサルティング株式会社が今年の7月に「アジア10カ国の親日度調査」という調査を実施している。その中で、「大好き・好き・嫌い・大嫌い」というカテゴリで、約9割のシンガポール人が日本という国または日本人を「大好き・好き」という回答をしている。

2016年にSJ50という節目を迎え、今後更なる二国間関係の発展が期待される。

(りそな銀行シンガポール駐在員事務所 木村)

照会先： 国際事業部（東京）電話 03 - 6704 - 2723
（大阪）電話 06 - 6268 - 6357

当資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいますようお願い致します。
* 禁無断転載 *